



道 歯 技 広 報

The Bulletin of the Hokkaido Dental Technologists Association

2024 Winter No.29

- 巻頭言 「Stress Control」
- 「第165回北海道歯科技工学術研修会」報告
- 「第164回北海道歯科技工学術研修会 On Stage Report 後編」
札幌歯科技工士会 三浦 知也
- 「第166回北海道歯科技工学術研修会」報告
- 「地域組織会長に聞く」 函館歯科技工士会 会長 佐藤 浩充
- 「中堅歯科技工士から一言」 札幌歯科技工士会 佐々木 麻那
- 「Lilac」 小樽歯科技工士会 会長 太田 桂吾
- 「歯科技工における手話表現・見える言葉」 札幌歯科技工士会 工藤 三重子
- 道技代議員選挙のお知らせ
- お知らせ 新型コロナウイルス感染症について/メーリングリスト登録について/
X (旧Twitter) 開設について/学術論文募集について
- 理事会報告
- 新入会員紹介/編集後記
- 活動・会員特典の紹介

PC用ホームページ <https://www.dougi.or.jp/top.html>

携帯用ホームページ <https://www.dougi.or.jp/keitai.html>

表紙写真・巻頭言写真・Lilac 写真・道技代議員選挙のお知らせ写真・編集後記写真 / 札幌歯科技工士会 海津雅隆

Stress Control

これまで仕事をしてきて、いろいろな達成感を味わってきた。患者さんが喜んでくれたり、同僚と力を合わせて目標をクリアした時などは、何とも言えない清々しさを感じた。そのためには、多くの知識を身につけ、技術を磨き、時には大きな失敗や苦難、経験の積み重ねがあった。そうして日々仕事をしていると疲労が蓄積して来るものである。それは、単に肉体的なものであったり、または、精神的なものであったり様々である。そのような時は、休日の過ごし方を考えなければならない。

体を休めるには、何もせず横になるほか、温泉や、マッサージなどリラクゼーションもよい。または、体を動かして、ストレス発散することもある。そして、趣味に没頭するのも、心の栄養補給になる。

私は、美味しいもの食べることが趣味で、大のお酒好きである。お酒に合わせた料理を作ることもある。どうしたら美味しく見た目がよくなるか、洗い物を待ち時間で効率よく片づけるか、そうすると仕事にも、共通しているところもある。失敗もすることもあるが、それほどストレスを感じない。むしろ楽しさのほうが勝っている。

何もせずゆっくり過ごすのも大切だが、運動や、頭を使って考えたり、趣味などで、心身を動かしたほうが、身体には良いと思っている。そして休日に、何を乐しむかにかかってくる。日頃の仕事と全くベクトルの異なることによる疲れは、仕事の疲労を解消する効果があるのだろう。

生きていくこと、仕事をすることは、ストレスとの調和をはかる努力の連続といえるのかもしれない。



● ● 第 165 回北海道歯科技工学術研修会 開催報告 ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会 常務理事 石井 友和

2023年7月22日に北海道歯科技工士会館を会場に第165回北海道歯科技工学術研修会を対面とオンラインを同時に行うハイブリッド形式で開催致しました。

講演Ⅰでは長野県でご開業されている有限会社小澤デンタルラボラトリーの小澤謙太先生に『3Dプリンター活用によるプロセスイノベーションの今』～アナログとデジタルの融合による革新的作業効率の変化について～と題してご講演いただきました。

3Dプリンターを用いた義歯製作工程を臨床での製作ポイントもご提示していただきながら、大変分かりやすくお話してくださりました。維持装置製作において、サベイヤーやブロックアウトを模型上で行うなど、アナログな部分を融合しながら、作業効率を高めておられました。また、会場に3Dプリンターで製作したパターンや維持装置を持ってきていただき、実際に模型上で見させていただきました。精度が高く、素晴らしい技術力を感じることができました。

講演Ⅱでは株式会社札幌デンタル・ラボラトリーの垂水良悦先生に『当社でのCAD/CAMシス

テム運用の試行錯誤～材料学を交えながら』と題してご講演いただきました。

CAD/CAMシステムの豊富な経験や知識をエビデンスに基づいて、大変分かりやすく解説していただき、ジルコニアに関する材料学的な特性も詳細にご教示いただきました。

また、CAD/CAMインレーにおける、設定値の注意点など、臨床技工に活かせるお話や、社内で様々な検証を行っていることなど、とても素晴らしい取り組みをされていました。

小澤先生、垂水先生ともに日々の業務の中で様々な創意工夫をされ、補綴装置を製作されておりました。日常臨床に活かせることが沢山あり大変勉強になりました。

最後になりますが、今回の研修会におきましては小樽歯科技工士会の太田桂吾会長にも会場にお越しいたご挨拶をいただきました。北海道歯科技工士会としては、地域会長を中心とした地域の皆様とともに研修会を運営して参りたいと思いますので、今後とも北海道歯科技工士会の研修会運営にご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



訂正とお詫び

第67回北海道歯科技工学術大会プログラムにおいて、協賛企業一覧の企業名に誤りがありました。深くお詫び申し上げますとともに、以下の通り訂正させていただきます。

【誤】 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

【正】 損害保険ジャパン株式会社

感謝状授与式に記載漏れがありましたことを深くお詫び申し上げます。

【追記】 感謝状授与式 公益社団法人北海道歯科技工士会前監事 渋川 充 様

第 164 回北海道歯科技工学術研修会 On Stage Report 後編

札幌歯科技工士会 三浦 知也

はじめに

前号で掲載した前編では、毎日の朝礼で唱和している経営理念をはじめ、弊社のStrong pointや挑み続けるために必要不可欠な最高の仲間を紹介しました。今回の後編では、仲間と挑む機能する補綴装置を届けるために重要な知識やcase presentationを供覧します。

欠損の最たる全部床義歯からトップダウントリートメントを考察しながら機能する補綴装置をつくり上げます。そのために弊社のメソッドやK.S.I. (Kansai skill-up innovation) を駆使した臨床caseを通して、目先のHow to (やり方) ではなく、機能する補綴装置がお口元で能力を発揮できる結果をどうやったら出せるのかを考える思考とKnow how (知識・技術・人間性) の鍛錬を磨くことで生体に調和した補綴装置をつくり出せると捉えています。

北海道の地で邁進している私たち一人ひとりがオンリーワンの価値があると称え合うことで、明日からの臨床がワンランクアップすると信じ、後編を綴っていこうと思います。

今回もPicture Albumを用いて多くのスライドを供覧します。

本日の プレゼン ラインナップ

- ・ 私たちが目指す臨床的補綴装置とは…
- ・ これまでのリアルな日常臨床の一コマ
- ・ なぜ、機能する補綴装置を1つでも届けたいのか…?
- ・ 目指す臨床的補綴装置を得るために掘っておきたいポイントとは…
- ・ 実際の臨床症例を基に、仲間・組織と挑むことによる可能性
- ・ 明日から使える・使いたいアプローチ
- ・ まとめ

Fig. 1 講演内容

私たちが目指す臨床的補綴装置とは … ③



Fig. 2 ペリオリスク回避が目的の補綴装置

これまでのリアルな日常臨床の一コマ ⑤



Fig. 3 前処置の要点を問うためのスライド

これまでのリアルな日常臨床の一コマ ⑦



Fig. 4 本来義歯を装着することで補綴歯（サベイドクラウン）との一体化を目指す。しかしながらサベイドクラウンの軸壁のコントロールや適切なレスト窩形成が至らなかったcaseを用いて、クラウン担当DTとデンチャー担当DTはメソッドや考えをデスカッションすることの重要性を説いた一枚

問題点の原因

- ①ラボワークに力を注ぎすぎていた
- ②患者の顔や表情、改善したい主訴を認識していなかった
- ③ドクターやハイジニストの治療や処置を理解していなかった

Fig. 5 課題の問題に気づけた時の要点

目指したい夢を実現するため…

- ① 社内上司やスタッフに相談・思考・取り組み
- ② 機能する欠損補綴を仲間と学ぶ
(K.S.I. 吸着義歯 BPS…)
- ③ 前処置をコラボする時の要点を学ぶ
- ④ チェアサイドで繰り広げられる治療や
予防・メンテナンスを学ぶ
- ⑤ 貴院の価値観や方針を伺う

Fig. 6 課題に立ち向かうためのミッション

欠損歯列の病態8項目

欠損の部位	残存歯の状態
欠損の長さ	残存歯への影響
歯周環境	咬合
顎骨・軟組織の状態	審美性

Fig. 7 欠損歯列の病態を読み解くポイント

デントフェイシャルエステティックの諸要件

顔貌
咬合高径
正中線
上顎中切歯の切端の位置
咬合平面
スマイルライン
辺縁歯肉の連続性

Fig. 8 治療時や製作時・装着時のチェック項目
にもなり得る重要な諸要件

RPDの7つの構成要素



Fig. 9 RPDを知るための構成要素7つ

CASE6

- ・ペリオリスクが見受けられる (チェアサイド情報)
- ・綺麗な歯並びとしっかり咬める入れ歯を入れたい
- ・入れ歯とわかりにくい入れ歯が欲しい
- ・上顎
- ・下顎
- ・補綴歯

PAアタッチメントデンチャー
スイングロックシステムデンチャー
メタルボンド (コバルトクロム)



Fig.10 幾つか臨床caseを述べた内の1 case

「楽しく食べる飲み」を届けたいと
心から信じる執念と情熱が根底にあり
仲間と挑み続けることが
一枚岩の組織力となる

「 オンリーワンの価値を生み出せる 」

皆さま ご清聴 ありがとうございました

Fig.11 講演最後に弊社のスピリットを表現

全編まとめ

今回の機会を通して、約1年経過し自身や弊社
の取り組みを客観的に見つめなおす機会となりました。

スタッフ個々の成長と比例するように企業の組織
力が高まっていると捉えられました。北海道の
歯科医療を支える気概と皆さまと共にパラダイム
シフトを興せたらと心を躍らせながら、謙虚な気
持を胸に刻み仲間と挑み続けていこうと決意し
ました。

● ● 第 166 回北海道歯科技工学術研修会 開催報告 ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会 常務理事 石井 友和

2023年10月7日に北海道歯科技工士会館を会場に第166回北海道歯科技工学術研修会を対面とオンラインを同時に行うハイブリッド形式で開催致しました。

講演ⅠではDental Labor GmbH Gross の高瀬直先生に『デジタル時代における咬合精度向上の可能性～周知すべき咬合の基礎最前線～』と題してご講演いただきました。

様々な咬合理論の知識をエビデンスに基づき大変わかりやすく教えていただきました。また、デジタルデンティストリーが進み、IOSの普及拡大に伴うモデルレス技工の需要が増加している中、バーチャル咬合器の使用方法など、臨床に活かせるよう実際の画面を通して詳しく解説していただきました。

講演ⅡではSignature Dental Labの横田浩史先生に『ペイント番長の3回焼成ステイン法 ～再製を減らす～』と題してご講演いただきました。

3回焼成ステイン法の基本や臨床で応用するた

めのルールや具体的なステインレシピなどをご教示いただきました。また、ジルコニアディスクの余った部分を使用しサンプル製作することや、実際の臨床症例を通して工程の重要ポイントなどを解説していただき、明日からの臨床に活かせるお話をしていただきました。

高瀬先生、横田先生ともにデジタルデンティストリーが進むなか、アナログな部分も重要であり、融合することの大切さも伝えてくださりました。

最後になりますが、北見歯科技工士会の行元高雄会長にも会場にお越しいただきご挨拶をいただきました。また、今回の研修会は会場、オンラインとも道内のみならず、全国から参加していただき、会員の皆様のご協力に感謝いたします。北海道歯科技工士会としては、地域会長を中心とした地域の皆様とともに研修会を運営して参りたいと思いますので、今後とも北海道歯科技工士会の研修会運営にご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



● ● 函館地域歯科技工士会会長をお受けして ● ●

函館歯科技工士会会長 佐藤 浩充

前会長が急に体調を崩され、円滑に会務を遂行すべく、会長をお受けいたしました。

時はコロナウイルス感染症の話が出始めた時期と丁度重なり、相談役の堀井氏や副会長の南部氏の協力を得て、『With コロナ』の函館地域歯科技工士の活動をして参りました。

感染症対策を徹底した中で、戸島和之先生にご足労いただき、診療報酬改定講習会を執り行うことができ、またその中で、戸島先生には診療報酬改定以外の全般的な歯科技工士会や技工業務に対しての疑問質問もお受け頂き、誠にありがとうございました。また同時に臨時総会を執り行い、会員皆様から改めて会長としての承認を得ることができました。

函館地域歯科技工士会独自の活動として、突如として降ってわいた『インボイス制度』に対しての不安や疑問を取り除き、理解を深めるべく、早い時期に、歯科技工士会から頂いた資料を基に、税金関係に非常に詳しい自分の友人にお願いして、感染症対策を徹底した中『敷居の低いインボイス制度の勉強会』を執り行いました。色々な具体例を出して解説してもらい、小さな疑問にも答えてもらいました。非常に活発で、有意義な時間を過ごすことができた勉強会だったと自負しております。

最近では歯科医師会の事業の『歯と口の健康週間フェスタ』に協力してまいりました。

歯科医師会との良好な関係をこれからも続けていきたいと思っております。

このコロナ禍により中止されていた事業も徐々に形を変えながら復活しつつあります。

ただ、どうしても私を含め、年齢のせいにしてはいけないのは解っているつもりなのですが、『オンライン』『ズーム』『メーリングリスト』などの言葉に一步引いてしまう傾向は否めません。し

かし今この時代、その一步を踏み出してみませんか？

函館地域歯科技工士会は前任者の方々が続けてきた、まとまりのある、それぞれ個々が『メリット』を見いだすことができるような会運営を心掛けて参りますので、今後とも皆様のご協力の程よろしくお願いいたします。なお、少し話は逸れますが、私の最近心掛けている事は、自分自身の時間を大切にする事です。趣味のバイクツーリングとキャンプでリフレッシュしています。皆様、精神的肉体的な健康に留意され益々のご活躍をお祈り申し上げます。



次世代との架け橋

札幌歯科技工士会 佐々木 麻那

私は新卒から3年間、株式会社プライムデンタルでお世話になりました。その後YDL Sapporoに8年間在籍し、現在は母校である札幌歯科学院専門学校にて歯科技工士科の教務職員として勤務させていただいております。

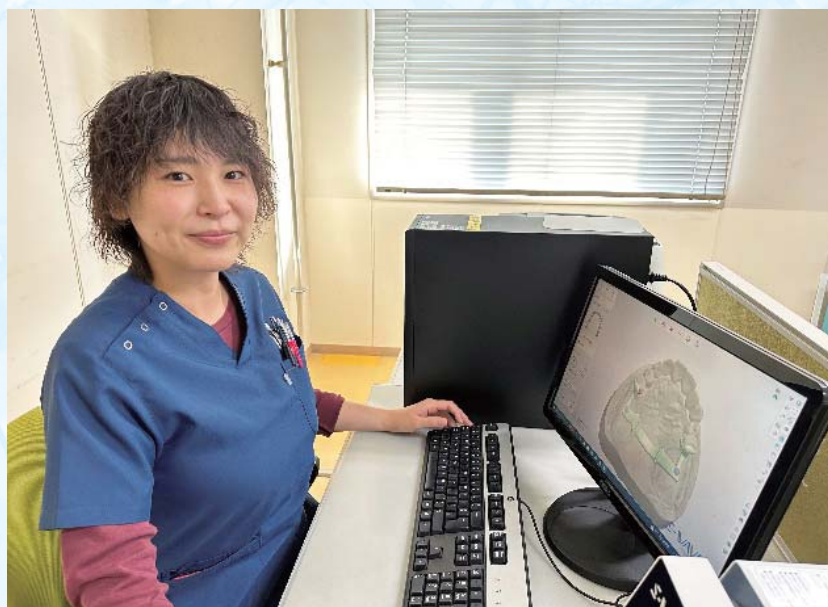
今では臨床の現場から離れておりますが、歯科技工所に勤務していた際は主に義歯の製作を担当していました。学生の頃は有床義歯の実習科目が苦手だったのですが、「何となく楽しい」という理由で義歯の道を選んだような記憶があります。次第に「広範囲の欠損を補綴し咬合を再構築する」という面に魅力を感じ、可能な限りセミナーや講演会に参加して知識や情報を得ることを意識するようになりました。今となっては改めて思い返しても、若いうちからそのような経験をさせていただいた以前の職場の環境はとても恵まれていたと思います。

現在の職場での主な業務は歯科技工士を目指す学生への指導です。転職して今年で2年目になりますが、現場の歯科技工士として勤務していた時とは大きく環境が変わりました。国家試験に向けての実習や学科の対策を始め、これから医療従事

者として社会に出るための準備をサポートする立場になります。未知の経験ばかりで新しく覚えなければならないことが沢山あり、学生からも新鮮な刺激を受けながら対応に取り組んでいます。卒業後はこれからの歯科技工業界に携わる“若手”となって先輩方から多くを学び、一人前の歯科技工士として活躍していくことを願っております。

何事もデジタル化が進む昨今、歯科でもデジタルを取り入れている環境が急速に増加しているように感じます。機能やシステムも日々進歩しており、今まで以上に時代の流れに対して敏感にならないとあっという間に取り残されてしまいそうです。さらに先日、職場に3Dプリンターが導入されました。私自身ずっとアナログ技工を行ってきたため、デジタル技工に順応できるよう研鑽に励んで参ります。

最後になりますが、私もまだまだ未熟な歯科技工士です。日々の業務に関する成長はもちろん、学術の知識も積極的に取り入れていかなければなりません。将来の歯科医療の一端を担う後進の育成のためにも、自分自身が歯科技工士として成長し続けられるよう日々精進いたします。



● ● Lilac 『日本人よアイデンティティを確立せよ!』 ● ●

小樽歯科技工士会 会長 太田 桂吾

2023年2月7日、三菱重工は「スペースジェット」(IHMRJ)の開発中止、事業からの撤退を発表した。

かつて三菱重工には天才設計者、堀越二郎を擁して彼の手になる戦闘機/九六式艦上機(通称零戦)を生み出したのだが、今回のMRJの開発は日本の航空機産業をステップアップさせる一大産業としてときの政府も五百億円の開発支援をした。

撤退発表の理由は「再開に足る事業性を見いだせなかった」と、つまりは表向き事業として成り立たないと言う事だが、ホンダジェットは小型機ではあるが、そのシェアを伸ばし続けている。

三菱重工とホンダの違いは、三菱は日本でホンダは米国で許認可を申請したことで、三菱は設計から製造そして許認可まで、純日本製を目指したのだ。

半導体でもそうだ。かつて日本は東芝など半導体で世界一のシェアを誇ったが、「日本の半導体は不当ダンピングに当たる」として日米半導体協定においてその技術を韓国などに譲った。

翌8日の各紙はMRJの挫折を報じ、その夜にはNHKが「映像の世紀 バタフライエフェクト 零戦 その後の敗者の戦い」を再放送する。その中で、零戦の同調発射装置を開発した深海正治は内視鏡を設計し胃カメラを世界で初めて実用化し、また、零戦の振動を制御した松平精は新幹線の振動を制御する台車を設計する。

その後、三菱重工は次期戦闘機を三菱重工が主体となってイギリス、イタリアと共同開発すると発表した。(出典元:月刊Hanada2023年4月号. 永田町コンフィデンシャル九段靖之介. p32-33: 株式会社飛鳥新社.)

岸田政権になり、憲法改正の報道がすっかり無くなってしまった為日本は戦後から現在まで独立国家とは言えないとつくづく感じるのである。憲

法改正の目玉は九条の戦争放棄となっているが、GHQが作った日本にとっての悪法はそれだけに留まらず財政法四条では日本が再び米国に歯向かわないように財政法四条で防衛費の財源を国債発行できないよう制限したのである。

田原総一郎の「朝まで生テレビ」の中でもかつての財務省と共に経産省が、戦後から現在に至るまで財源の歳入と支出、その使い道を年に一度米国に報告していると論争に成った事がある。また、領空権は日本には無くお伺いを立てなければ自由に自国の空さえ飛べない。これが現状なのだ。

日本が真の独立を成し遂げたとしても、この世界の情勢の中では一国で防衛、経済など成せるはずもなく同盟を結ばなければならない。その国は米国がベストだろう。

見えない水面下で今の日本はがんじがらめの状態だがまずは独自憲法を成し遂げた上、対等な対場で日米同盟を結ぶべきであろう。

(公)北海道歯科技工士会 就労対策委員からの依頼は、今思うことや、就労、趣味等と言われましたので、残りの二つについて簡単に触れたいと思います。

LGBT理解増進法、これはレズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字を取ったものだが前者三つは「性的指向」であり、最後のトランスジェンダーのみが「性同一性障害」という精神疾患として精神科医による診療と診断のうえ認定がなされるのである。その結果学校や会社では新たにLGBT用のトイレを増設したり、社内規則を改正したりしなければならないと報道されている。

このLGBは自己申告であり、明らかにトランスジェンダーと分けなければならないのに日本は性差別に不寛容であるとされ、未だどこの国にも無い法律を作ろうとしている。

最後に、我が家の家庭菜園では定番野菜の他スイカとブドウが豊作でした。これからは冬に備えて畑の整理と冬囲い、加えてスモークチキンにスモークサーモン・豚肉の自家製ベーコン作りで忙しくなります。



9月の末にサザンオールスターズのライブと、横浜のマリーヌルージュで大黒埠頭クルーズに行ってきた。茅ヶ崎ではサザン神社と向いにある小林園でグッズを買いライブの準備万端。

JR茅ヶ崎駅ではホームに「希望の轍」がマリーヌルージュのディナークルーズでは「LOVE AFFAIR ～秘密のデート」が流れ最高のひと時を過ごしました。



私の政治、経済に関する情報は『月刊Hanada』からが多いのですが、一面での情報として捉えています。機会がありましたら手に取って見て下さい。



● ● 歯科技工における手話表現・見える言葉 ● ●

札幌歯科技工士会 工藤 三重子

長らく会報に掲載させていただき、次はどの用語が良いか考えるほど回数を重ねて参りました。ありがとうございます。今回は咬合の偏心位と中心位について、お話しします。通常、図1にあるように「咬合」の手話表現は両手拳を上下に合わせる表現（図1）の1と2です。（図1※の手話表現は筑波大学附属聴覚特別支援学校 歯科技工科

<https://www.deaf-s.tsukuba.ac.jp/sigika/shuwa/index.php> より転載)



筑波大学附属聴覚特別支援学校
歯科技工科

歯科技工専門用語手話

(図1)

[TOP](#)

A12

咬合面 こうごうめん

occlusal surface

歯の解剖



1.『咬合』：拳をかち合わせる。



2.



拳の上面をなでる。

しかし、咬合の動きを伴った表現や上下歯列全体を表現する場合、以下のような表現も用いています。手話は状況に合わせて表現されるので必ずしも一つの単語に一つの手話単語とはならないのが特徴です。

中心咬合		偏心咬合	
口形：ちゅうしんこうごう		へんしんこうごう	
			
右人差し指を、左人差し指と中指にそえる。手話：中、中心		両手指を軽く曲げ体の中心で合わせる。	
		左記の咬み合わせの位置から右手首を中心に水平にずらす。どちらに動かすかで左右の区別が可能となります。	

北海道デフ歯科技工士協議会では、歯科技工用語手話研修会を開催しております。詳しくは北海道歯科技工士会にお問い合わせください。

道技代議員選挙管理委員会設置の件

2023年10月14日

会 員 各 位

公益社団法人北海道歯科技工士会

会 長 扇 照幾

代議員選挙規程第6条及び第7条により下記のとおり道技選挙管理委員を委嘱し、道技選挙管理委員会を設置いたしました。ここにお知らせいたします。

記

道技選挙管理委員会委員

(所属)	(氏 名)
札幌	東 賢 志
札幌	桑 澤 孝 典
小樽	太 田 卓 也
釧路	徳 野 研 一
旭川	近 藤 里 峰
函館	堀 井 忠 則

(敬称略)



お知らせ

● ● 新型コロナウイルス感染症について ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会ホームページにて、情報を適宜掲示しています。 <https://dougj.or.jp>

● ● 北海道歯科技工士会メーリングリスト登録について ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会は、メーリングリスト構築並びにウェブを使ったセミナーを開催しております。まだ登録をされていない方は、公益社団法人北海道歯科技工士会ホームページにて、登録をお願いいたします。 <https://dougj.or.jp>

● ● 北海道歯科技工士会ホームページにおける会員ページへのログイン方法について ● ●

会員専用ページへのアクセスは、ログインフォームよりユーザー名とパスワードを入力しログインしていただくことで閲覧が可能となります。ユーザー名とパスワードは共に会員番号となっていますので、会員番号をご入力のうえ、ログインしてください。

● ● 公益社団法人北海道歯科技工士会 X(旧Twitter)公式アカウントについて ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会は、X（旧 Twitter）公式アカウントを開設しています。本会に関わる情報を発信しています。最新の研修会案内も投稿します。是非、北海道歯科技工士会のフォローをお願い致します。



● ● 学術論文の募集について ● ●

公益社団法人北海道歯科技工士会は、歯科技工技能水準の向上と安全で安心な歯科補てつ物等の提供等により道民の健康増進に寄与するための公益事業として「学術優秀論文表彰」を行っております。下記のとおり「学術論文の募集」を行いますのでご応募下さい。

- 目的：歯科技工士ならびに歯科技工士学生の学術研鑽意欲の向上を図る目的で、応募のあった中から最優秀論文を選考し表彰する。
- 対象：北海道で就労している全ての歯科技工士および北海道内の歯科技工士養成機関の本科学生および専攻科等の学生。
- 論文内容：歯科技工技術知見に係わる全般で、文字数および図表等の枚数に制限はありません。
- 募集期間：2023年1月～2023年12月まで。
- 選考方法：応募期間中に寄せられた論文は、外部選考委員も含めた3名の選考委員によって最優秀論文を選考、決定します。
- 副賞：最優秀論文受賞者には、さらなる学術研鑽を積まれるように副賞を授与します。
- 選考委員

【外部選考委員】 北海道大学大学院 歯学研究科 横山 敦郎 教授
北海道医療大学 歯学部 越野 寿 教授

【内部選考委員】 公益社団法人北海道歯科技工士会 扇 照幾 会長

■お問い合わせ先：公益社団法人北海道歯科技工士会 事務局

〒001-0037 札幌市北区北37条西4丁目3-8

TEL (011) 717-7155 FAX (011) 717-6954

e-mail dougj@abelia.ocn.ne.jp

● ● 理 事 会 報 告 ● ●

2023年度 第3回理事会議事録

日時 2023年6月10日（土） 16：00～18：00

1 会長挨拶

私たちは第12回社員総会において、代議員の信任を得て新役員に任命されました。私は代表理事として提案したいことが1つあります。それは会員の付託に応えるべく事業計画を遂行することは元より、新たな視野で本会事業を検証しアップデートをしていくことです。戦略的に課題を特定し仮説をたてていくことに重きを置き、変化の早い社会に対応していけるような理事会にしていきたい。と挨拶された。

2 承認事項

事業および派遣役員承認の件・・・・・・・【承認】

入会者及び退会者承認の件・・・・・・・【承認】

3 報告・協議事項

(1) 全般

- ア （公社）北海道歯科技工士会第10回社員総会（5月20日開催）について報告。
- イ （公社）日本歯科技工士会第12回社員総会（6月17日予定）に道技から提出した事前質問について説明。

(2) 生涯研修

- ア 第165回北海道歯科技工学術研修会（小樽）（7月22日予定）についてプログラムと予算案の説明。
- イ 第67回北海道歯科技工学術大会（11月18日予定）について会場候補として「えにあす」（恵庭市）の説明。
- ウ 第76回北海道歯科学術大会におけるD Tテーブルクリニックについて説明があり、越智遥奈氏に講師を依頼すると報告。
- エ ハイブリッド研修会における音声機材の購入について説明があり、拳手7名により承認。

(3) 広報

- ア ホームページの更新について報告。
- イ 道歯技広報28号（2023 夏）について報告。
- ウ 道技X（旧Twitter）の投稿状況について報告。

(4) 総務

- ア 2023年度第1回理事会議事録について報告。
- イ （公社）北海道歯科技工士会第10回社員総会議事録について報告。
- ウ J-MOTTOの運用について説明。
- エ 事業日程における各担当スケジュールについて2023年度事業日程作業工程表を作成し把握すると説明。

(5) 財務

- ア 5月期の執行状況について報告。

(6) 法規

- （公社）北海道歯科技工士会第10回社員総会議事録の提出について報告。

(7) 就労対策

- 5月末組織現況について報告。

(8) その他

- ア （公社）日本歯科技工士会理事会について議事録をもって説明。
- イ 2022年度北海道デフ歯科技工士会協議会について報告。
- ウ 災害時の歯科医療救護活動に関する協定書について説明があり、アンケート提出の報告。
- エ 北海道補助金交付決定について報告。
- オ （公社）日本歯科技工士会「インボイス周知活動」のお願いについて説明。本件について会員からの問い合わせがあったこと等を考慮し、急遽ではあるがインボイス講習会を開催すべく日技へ申請書類を提出することとした。開催日を8月5日、講師は日技が指定した漆畑邦裕（税理士）で理事会承認。

2023年度 第4回理事会議事録

日時 2023年7月8日（土） 18：00～19：00

1 会長挨拶

本日の理事会では、次年度以降の事業計画立案の為、2点提案したいことがある。1点目は、理事者が個々に思っている北海道歯科技工士会の理想像や、その他感想をお聞きしたい。

2点目は理事者の価値観を確認したうえで、取り組むべき課題を特定したいと考えていること。新たな視点から今後の会議内容を精査し、戦略的な立案ができるような理事会にしていきたいということ。賛同が得られれば今後の会議から実行したいと思いますので、より一層の協力をお願いいたします。と挨拶された。

2 承認事項

事業および派遣役員承認の件・・・・・・・【承認】

入会者及び退会者の件・・・・・・・【承認】

3 報告・協議事項

(1) 全般

- ア 北海道庁・北海道歯科医師会表敬訪問について報告。
- イ 第12回日技社員総会について報告。

(2) 生涯研修

- ア 第165回北海道歯科技工学術研修会（小樽）についてタイムスケジュールの説明。
- イ 第67回北海道歯科技工学術大会（11月18日予定）について会場候補として「えにあす」（恵庭市）の説明。
- ウ 各研修会・講習会の受講料について協議され、継続協議することとなった。

(3) 広報

- ア ホームページの更新について報告。
- イ 道歯技広報29号（2024 冬）について報告。
- ウ 道技X（旧Twitter）の更新状況について報告。

(4) 受託技工

- ア インボイス講習会について報告。
- イ 2023年7月の歯科用金属価格の随時改定について報告。

(5) 総務

- ア 2023年度第3回理事会議事録について報告。
- イ 2023年度障がい者歯科技工士研修事業について研修会場所を協議し、第43回全国障害者技能競技会大会の選手募集について報告

(6) 財務

- ア 6月期の執行状況について報告。

(7) 就労対策

- ア 卒業生の就職先一覧と6月末組織現況について報告。
- イ Lilacのコンテンツについて協議され、道歯技広報に掲載することとなった。

(8) その他

- ア 日技理事会の報告。
- イ 2北海道HIV/AIDS歯科医療連絡協議会の後援名義依について報告。
- ウ 日本口腔インプラント学会の後援依頼に関して報告。
- エ 北海道歯科技工士の理想形と問題点に関して協議。

2023年度 第5回理事会議事録

日時 2023年9月2日（土） 18：00～19：00

1 会長挨拶

コロナ感染状況が、5類に移行したよりひどくなっているため、感染対策に今一度注意をしていただきたい。

防衛的悲観主義とは最も良い結果を望みながら、最も悪い事態を想定しておく事である。この防衛的悲観主義にあるポジティブは8割、ネガティブな割合が2割とされている。ネガティブが無ければ成長や変化はなく、ポジティブが無ければ行動はできない。体感でも良いから80対20の法則になる様にした方がいいのだ。

この思考に基づいて、危機管理をしながら会務を遂行していきたい。事業としてはアップデートしたものを一つでも提案し、可能なことから前進し結果を出していく。情報を共有しながら意欲的に活動し、今回の理事会を進めていきたいと、挨拶された。

2 承認事項

事業および派遣役員承認の件・・・・・・・【承認】

入会者及び退会者承認の件・・・・・・・【承認】

3 報告・協議事項

(2) 全般

- ア 2024年度各部事業計画について第6回理事会までに各部で協議し総務部に提出するよう報告。
- イ 2023年度各部事業中間報告についても同様に第6回理事会までに各部で精査し総務部に提出するよう報告。

(2) 生涯研修

- ア 第67回北海道歯科技工学術大会（11月16日開催予定・千歳）プログラムの説明。
- イ 第166回北海道歯科技工学術研修会（10月7日開催予定・北見）プログラムの説明。
- ウ 第166回北海道歯科技工学術研修会 予算案の説明。
- エ 第165回北海道歯科技工学術研修会 報告書・顔末書の説明。

(3) 広報

- ア ホームページの更新について報告。
- イ 道歯技広報29号（2024 冬）について報告。
- ウ 道技X（旧Twitter）の更新状況について報告。

(4) 受託技工

- ア 8月5日に開催したインボイス講習会について報告。

(5) 総務

- ア 2023年度第4回理事会議事録について報告。
- イ 第1班離島派遣について報告。

(6) 財務

- ア 8月期の執行状況について報告。

(7) 法規

- ア 第11回社員総会に向けて道技代議員選出のための「代議員選挙管理委員会」委員選任を各ブロックに依頼する旨の報告。
- イ 道技代議員選挙日程について報告。

(8) 就労対策

- ア 8月末組織現況について報告。

(9) その他

- ア 日技令和5年度災害歯科保健医療体制研修会の実施について報告。
- イ JIMTEF災害医療研修ベーシックコース受講者募集案内について報告。
- ウ 各都道府県歯科医師会における災害歯科支援チームの編成についての協力依頼について報告。
- エ 参予推薦依頼について報告。
- オ 日技理事会報告について報告。

公益社団法人 北海道歯科技工士会 活動・会員特典紹介

講習会・研修会の開催

厚生労働省後援の「歯科技工士生涯研修認定」学術大会(年1回)学術研修会(年3回)をはじめ、実技研修会・各セミナーを開催しています。
(Webによるハイブリッド開催も多数行っています。)
会員は基本受講料1,000円で参加できます。
(卒後3年以内の会員は無料)



情報提供

日本歯科技工士会が発行する「日本歯技」(毎月)のほかに北海道歯科技工士会が「道歯技広報」(年3回)を発行しています。
歯科技工に関わる最新の情報をホームページの会員限定ページやX(旧Twitter)にて、随時、情報発信しています。

歯科技工士仲間や関係団体との交流

各地域歯科技工士会において、地域歯科医師会・歯科衛生士会との共同行事や歯の健康週間をはじめとする市民貢献イベント等、様々な行事やボウリング大会・ゴルフ大会等、レクリエーションが行われています。



厚生労働省や関連団体との交渉窓口

歯科技工業界のさまざまな問題を交渉し、歯科技工の職業・生活水準向上のため、全力で取り組んでいます。また、診療報酬改定などの情報をタイムリーに発信しています。

慶弔制度の充実

長寿祝金・出生祝金・死亡弔慰金・高度障害見舞金・火災見舞金・災害見舞金など慶弔制度が充実しています。

お近くに、まだ未入会の歯科技工士の方がいらっしゃいましたら是非ご案内ください。

ホームページ <https://doug.or.jp>

X(旧Twitter)公式アカウントのフォローをお願いします。



公益社団法人
北海道歯科技工士会
Hokkaido Dental Technicians Association

